

車とAIアシスタント「Clova」を連携させる「Clova Auto」を通じ、トヨタの技術を活用したナビゲーションサービスを提供

2018.10.15 AI関連サービス

2019年夏より音声操作による目的地検索、ナビゲーション機能等を可能に

LINE株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：出澤 剛、以下LINE）は、トヨタ自動車株式会社（以下トヨタ）が2017年より導入をいたしましたクラウドでの高鮮度なビッグデータを活用したナビゲーション基盤を、「Clova Auto」と統合し、ナビゲーション機能までを統合したスマートフォンアプリケーションを2019年夏より提供することをお知らせいたします。



LINEは「LINE CONFERENCE 2018」にて、車載器とAIアシスタント「Clova」を連携し、「Clova」が車の空間で利用できるサービス「Clova Auto」を発表しました。

そして、今回新たに発表しました連携により、「Clova Auto」は、ドライブをしながら家の電気を消す、目的地の天気を調べる、LINEメッセージの送受信といったことが音声によって実現できるのみならず、目的地検索、カーナビゲーションまでを提供し、車に関するドライバーのニーズをワンストップで実現するサービスとなります。「ねえClova、東京タワーまでの行き方を教えて」「東名高速道路の渋滞情報を教えて」など、音声によるナビゲーション操作を可能にいたします。また、「Clova Auto」は、車載器とスマートフォンを連携するSmart Device Link（SDL）に対応し、ハンドルの音声コントロールボタン、ディスプレイへの地図等の情報表示をいたします。

「Clova Auto」に統合させるトヨタのナビゲーション基盤は、膨大な交通情報から、より短時間で到着する最適なルートを探索し、通信圏外や、案内されているルートから逸脱した際のリルートなど、速い応答性が要求されるときは、ローカルのルート探索処理に切り替えるハイブリッドナビゲーションシステムです。ユーザーの走行情報から生成した独自のプローブコミュニケーション交通情報を基に、道路状況を予測し、より短時間で到着する最適なルートの提供が可能となります。

このように、「Clova Auto」を通じ、車内での音声操作や両社が持つビッグデータを活用した精度の高い道路状況予測や個人化されたナビゲーションを実現いたします。

2018年12月発売予定のSDL対応車載器に対して、「LINE MUSIC」アプリの連携より開始し、「Clova Auto」アプリは2019年春より開始いたします。ナビゲーション機能については2019年夏にと順次提供を予定しています。

LINEでは、このように「Clova Auto」を通じ、ユーザーの皆様のドライブをシンプルにし、楽しむことができるように、車にフォーカスした様々な機能、サービスを実現し、サポートしてまいります。